

『京都聴言ニュース』の発行回数の変更について」

『京都聴言ニュース』は 1978（昭和 53）年に法人創立に合わせて創刊し、2018（平成 30）年 3 月号で 582 号を迎えます。

本紙の発行が 40 年の長きにわたって続けてこられたのは、当法人を支えていただいている後援会会員の皆さま、関係団体の皆さま、聴覚障害福祉に携わる皆さま、当法人事業所と関わる皆さま、など多くの皆さまに支えていただいたおかげと深く感謝申し上げます。

『京都聴言ニュース』の編集内容をより一層に充実させるための編集方法の効率化につきまして、以下のように発行回数を変更いたしたくお知らせ申し上げます。

1. 『京都聴言ニュース』の発行回数を下記の通り変更します

『京都聴言ニュース』は年 12 回発行としておりましたが、2018（平成 30）年度より、年 4 回発行の季刊紙とし、内容の充実と編集の効率化を図ります。

2018（平成 30）年度より春季号（5 月）、夏季号（8 月）、秋季号（11 月）、冬季号（2 月）の予定です。

2. 『京都聴言ニュース』掲載の取り組み内容や広告を当法人のホームページにも掲載します

季刊発行の『京都聴言ニュース』を当法人のホームページにて PDF で見られるようにします。

これまで月刊の『京都聴言ニュース』でお伝えしておりました様々な情報もホームページ専用の記事企画として、随時ホームページに掲載してまいります。

3. 『京都聴言ニュース』を季刊発行とすることで、当法人の広報全体の充実（機関紙、インターネット、映像）につなげます

『京都聴言ニュース』を季刊発行にするとともに、広報の充実を図ります。後援会会員の皆さま、関係団体の皆さま、聴覚障害福祉に携わる皆さま、当法人事業所と関わる皆さま、など多くの皆さまはもちろんですが、より多くの皆さまに当法人の取り組みをより臨機に知っていただく機会を創出してまいります。

よろしくご理解の程お願いいたします。

社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会
理事長 高田 英一